

2021年8月27日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園
学 園 長 飯山文子

白根学園障害者支援施設 しらねの里 における
新型コロナウイルス感染者の発生について（第1報）

8月25日、障害者支援施設 しらねの里の職員1名がPCR 検査の結果「陽性」であることが判明しました。ただちに、保健所の指示を受け、下記のとおり対応させていただきますので、お知らせします。

1 当該職員について

当該職員は、週1回、入所男性の夜勤補助をしていますが、8月24日に発症があり8月25日に病院でPCR検査を受けたところ、陽性が判明しました。現在自宅で療養中です。

2 陽性者の濃厚接触者への対応について

保健所の指示により、利用者5名の濃厚接触者を含め、スクリーニング検査として一部接触のあった利用者・職員全員を対象として、8月30日にPCR検査を実施する予定です。

現在のところ、しらねの里の利用者・職員に体調不良等の者はおらず、26日に念のため接触のあった利用者・職員に実施した抗原検査キットによる検査では、全員検出されませんでした。

3 施設の運営について

皆様にはご不便ご迷惑をおかけしますが、しらねの里については、9月5日まで健康観察期間としてユニット内で待機となります。

なお、8月13日に発表した地域生活センター和の感染発生状況第2報の中で、その通所先としてのしらねの里・げんきで職員2名の陽性判明をご報告しましたが、当該職員の健康観察期間は8月23日に終了し、しらねの里・げんきは24日から通常稼働しています。